



みささ

「みのりある学び」と

「さわやかな仲間」は

「最適な環境」から

令和5年12月21日 No.45

文:岡本勇人



三朝町立三朝中学校 学校だより

「今年も残すところ…」 「今年最後の放送です。」
という言葉をよく聞くようになりました。そろそろ
年賀状を作らねば考えていましたが、そう言えば以
前こんな記事を見ました。

- ・ 「日本郵便は8月31日、2024年用の年賀はがきの、当初の発行枚数が前年より12%少ない14億4千万枚になると発表した。電子メールやSNSの普及などを受けて13年連続で減少し、7年前のほぼ半数となる。」
- ・ [値上げラッシュ]郵便料金値上げへ 定形封書110円・はがき85円(来年秋以降の改定になる見込み)

また、「年賀状じまい」「終活年賀状」という言葉も聞くようになりました。これらが気になり、「年賀状を出す意味"について、改めて、検索してみました。

◆ 「筆ぐるめHP(年賀状作成ソフトメーカー)」から引用
昔から日本では、新しい年を迎える際に、お世話になった方や親しい方に挨拶をして回る習慣がありました。しかし、遠方に住んでいるなど、何らかの理由で直接の挨拶が難しい場合、代わりに書面で挨拶をすることがあり、これが年賀状の始まりと言われていいます。年賀状を出す相手は、大きく2つに分けられるのではないのでしょうか。

- お世話になっている、身近な方へ
 - しばらく会っていない、ご無沙汰している方へ
- どちらに対しても年賀状を出すことは、その相手を想う時間をつくる、というとても大切な意味を持ちます。

早速年賀状作りに励みます、まずは本の購入を。

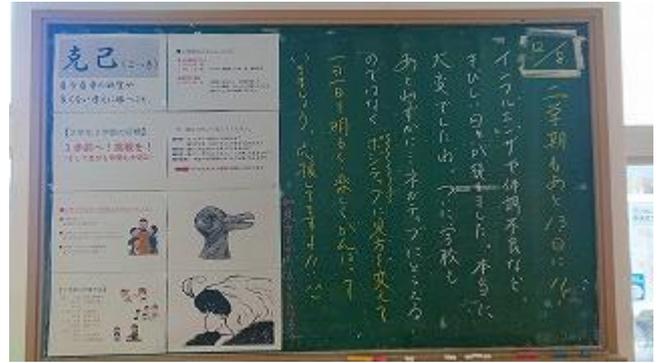


12/17 玄関前

「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「克己」

◆ 克己(己に克つ)

12月初旬から"二学期もあと〇日"と、トイレ前学年掲示板記されています。(〇:13日➡6日)



いずれも変わらない言葉は、「克己」です。「自分自身の欲望やよくない考えにかつこと」と記していません。あまり使わない"克つ"が使っていることに意味があると感じています。

"今一度自分を振り返ってください""見方をかえるとどうなる"が添えられています。

多面的・多角的に物事を見ると、新たなことを発見できます。自分を"多面的・多角的にメタ認知"しましょう。わからない言葉はぜひとも検索してください。意味が分かれば、会話の中で活用できます。



"三朝町歌"を校舎内に掲示しています。"三朝町民憲章"とともに意識し続けてほしいです。

★ 三朝中学校 HP <https://misasa-j.edumap.jp/>